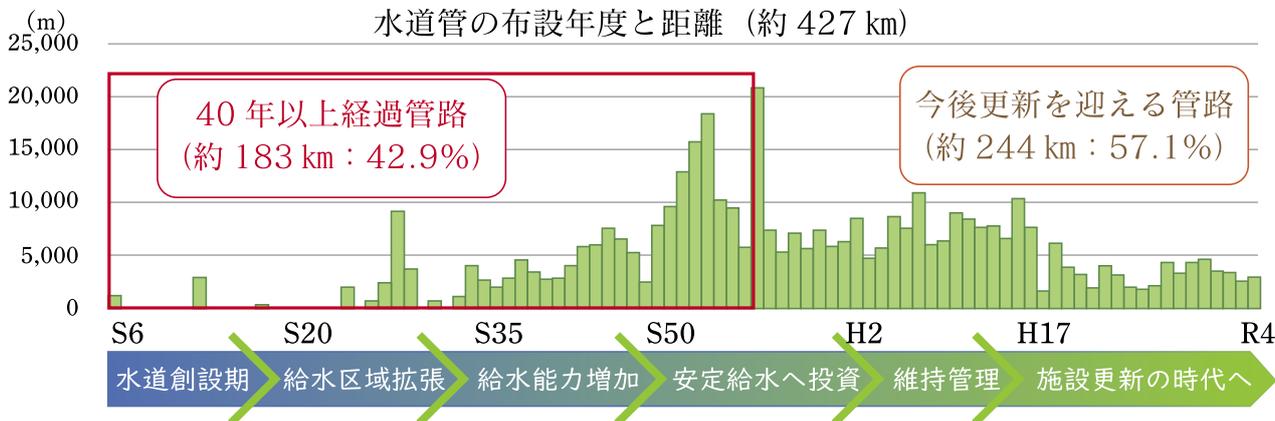


子や孫の世代まで将来にわたって持続可能な水道サービスを維持していくため、水道施設の更新に必要な費用(水道事業アセットマネジメント^{※1})を試算しました。圃水道局総務課(☎83-4111)

※アセットマネジメント…資産運用

③水道施設の老朽化

水道局が管理する水道管(市内延長約427km)の約40%が法定耐用年数(40年)を超過しており、浄水場や配水池などの多くの施設も高度経済成長期に作られたため老朽化が進んでいます。



アセットマネジメントによる水道施設更新費用の試算結果

将来の安定給水にはどのくらいの費用が必要?

水道局が所有している水道施設を、老朽化した順にすべて耐震施設に更新した場合の費用を試算すると、5年間で約23.87億円/年、80年間で約8.74億円/年(物価上昇分を除く)が必要となりました。この更新事業費は、ここ最近水道局が行った年間の施設整備費用の2倍以上が必要となる試算結果となりました。(直近5年間の更新事業費:約4.0億円/年)



これからの水道施設の更新費用はどうするの?

水道事業は、原則水道料金によってすべての費用をまかなっています(独立採算制)。そのため、水道料金には水道水を市民のみなさんや企業に届けるための費用だけでなく、更新費用や維持管理にかかる費用も含まれています。蛇口をひねると当たり前に出てくる水道水ですが、老朽化していく施設をそのままにしていると、水道サービスを維持できなくなってしまいます。水道施設を次世代に引き継ぐためには、水需要の推移を見通しながら、ダウンサイジング^{※2}をはじめとする「更新費用の削減の検討」とあわせて、料金改定を含む「財源の確保の検討」を行い、今後も将来にわたり持続可能な事業経営を目指す必要があります。

詳しい資料は、右QRコードから市ホームページをご覧ください。

※2…規模を縮小する



【市HP】



災害や事故で断水したニュースを聞いたけれど、家でできる備えはあるの?



A 水道水は塩素が入っているため、常温で3日くらいくみ置きができます。くみ置きをする場合は、清潔で蓋のできるポリ容器などに口元までいっぱいに入れて、日の当たらない涼しい場所で一人1日3ℓの飲み水3日分を目安に準備しておきましょう。また断水になった場合には、避難所などの応急給水拠点に飲み水を供給します。

